

所 報

INSTITUTE OF BUSINESS RESEARCH
COLLEGE OF ECONOMICS
NIHON UNIVERSITY

No.90

展 望

COVID-19 の影響が依然として看過しがたい状況において、日本大学経済学部産業経営研究所は「COVID-19 以降の社会と産業・企業・経営の課題」を統一テーマに掲げ3年に渡り継続した研究成果の公開研究会を開催している。2023 年度内に4回の公開研究会を開催した。今回の所報にはそれらの模様を採録している。

■第311回産業経営研究所公開研究会（2023.10.21 開催）

研究テーマは「働き方改革の影響と職場のルールづくりにおける労働者のコミットメントに関する研究」となっており、研究代表者は村上英吾教授（本学部）である。報告内容は、労働者調査と経営者調査の概要、次に最低賃金の引き上げや物価上昇に対して経営者の対応や必要な施策に関する経営者の意識、最後に農業分野の外国人材労働力受け入れ実態、であった。国内の労働力不足の中で外国人労働者に関しては今後の研究成果が期待される。

■第312回産業経営研究所公開研究会（2023.11.18 開催）

研究テーマは「Corporate Governance Mechanism」となっており、研究代表者は山田仁志准教授（本学部）である。報告内容は企業間の利害関係のコントロールおよび経営者の動機づけに関するメカニズムに関して各研究者の立場から検討がなされていた。非営利組織やスポーツ組織などの研究がなされ、多面的なアプローチからガバナンスの研究となっている。株主至上主義の是正という観点から今後の研究成果が期待される。

■第313回産業経営研究所公開講演会（2023.11.27 開催）

講演テーマは「働く人の睡眠と健康、安全、働きがい」となっており、報告者は高橋正也氏（労働安全衛生総合研究所過労死等防止調査研究センター）である。日本の睡眠事情、適切な睡眠時間、労働時間と夜間シフト、メンタルヘルスへの影響、睡眠不足とミス、などの労働と睡眠に関する多岐にわたる内容での講演であった。日本人の長時間労働と睡眠時間不足の解消というテーマはまさに働き方改革の進行する中で重要な指摘であったと思われる。

■第314回産業経営研究所公開研究会（2023.12.6 開催）

講演テーマは「印刷産業の拡がりはエレクトロニクス分野まで」となっており、報告者は百留公明氏（正林国際特許商標事務所参与・一般社団法人経済社会システム総合研究所客員主任研究員）である。印刷の歴史から印刷方法の工程、印刷業の現状、大日本印刷（DNP）の歴史および事業内容など多岐にわたる内容での講演であった。印刷におけるイノベーションは今後も多様な取り組みが予想され興味深い内容であった。

日本大学経済学部 准教授
高橋 哲也